

京都府、京都産業大に対する特区ワーキンググループのヒアリング資料 の公表の遅れに関する国会質疑録（抄録）

作成 醍醐 聰

参 - 農林水産委員会 - 6号 平成 29 年 04 月 06 日

森ゆうこ君 ありがとうございます。もう少し詳しくお聞きしたいところだったんですけど、次に行きたいと思います。

いろいろありまして、今度黄色い部分ですね。これは十月十七日に京都府、京都産業大学からヒアリングを行った、このことについては私どもも最初に質問、この問題について当委員会で三月に質問したときにはそもそも情報自体が与えられませんでした。この議事録の公表もされておりました。改めて強く抗議をしたいと思っておりますけれども、とにかく十月十七日にワーキンググループによって京都産業大学のヒアリングが行われました。

内閣府副大臣に伺いたいんですけども、この席には文部科学省は参加していませんけれども、それはなぜですか。

副大臣（松本洋平君） そのヒアリングは、あくまでも提案者からのヒアリングということだからであります。

森ゆうこ君 今治のときにはいましたよね。

副大臣（松本洋平君） 今治におきましても、六月五日の場合には提案者ヒアリングということでありまして。

森ゆうこ君 そうしますと、文科省に伺いたいんですけども、この京都産業大学の提案について文部科学省が何か検討したり、あるいは意見を言う場というものは設けられたんでしょうか。

政府参考人（松尾泰樹君） 関西圏の特区の方については、私ども出席をしておりませんので、協議はなかったというふうに承知してございます。

森ゆうこ君 そうしますと、内閣府にお聞きしたいんですけども、先ほど先生方への答弁の中で、京都産業大学よりはやはり今治の方が熟度が高かったというふうな御判断に至ったというふうにお話があったんですけども、そうすると、これは内閣府独自で判断をされたということよろしいですか。

副大臣（松本洋平君） 内閣府、最終的には大臣の判断ということになります。

参 - 農林水産委員会 - 15号 平成 29 年 05 月 23 日

櫻井充君 済みませんが、英語で授業をやったからって感染症を身に付けるわけでも何でもありませんからね。これ全く違ってきますから、関係ないんですから。

そんなことをおっしゃるのであれば、例えば京都産業大学は、二〇〇四年に北近畿で大きな鳥インフルエンザの事案が発生して、これを京都府とともに解決してきたと、こういうことをやっているわけですよ。そして、動物医学研究所と併せて生命システム研究所、それから生命資源研究所と、こういうことをちゃんとやってきて活動されている実績もあるんです。この実績のあるところは全部却下されて、実績のないところ、そして、しかも本当に、今のような研究ができるかどうか分からない教授陣が集まってきているようなところが何で選ばれなきゃいけないのかということについては、私は本当に不思議でなりません。

そしてもう一つ、京都産業大学がプレゼンテーションを行ったこのワーキンググループのヒアリングについて、これは〔平成 28 年〕十月十七日に行われているんですが、この議事録要旨、これが出たのはいつですか。いつホームページにアップされましたか。

副大臣（松本洋平君） 京都の件に関しましては、資料公表並びに議事要旨公表は平成二十九年三月十六日であります。

櫻井充君 もう時間が来たのでやめますが、要するに、二十八年度の十月十七日に行われたものが、なぜか分かりませんが、翌年の三月二十六日だったかな、そこまで全然公表されていないんです。そして、この公表されたのはどうして公表されたのかというと、あるマスコミがこの議事録はどうして公表されないんですかと聞いた途端に載ったんです。聞いたたしか三日後ぐらいに載っているんです。

.....

衆 - 農林水産委員会 - 20 号 平成 29 年 06 月 14 日

宮崎（岳）委員

もう一つ、お伺いいたします。

昨日の夕方、国家戦略特区諮問会議の八田達夫座長らメンバーが会見を行いまして、この加計学園の選定には一点の曇りもない、こういったお話を、説明をされたわけではありますが、その中で、朝日新聞の記者だと思えるんですが、質問が出ました。

昨年十月十七日に、特区ワーキンググループが京都府と京都産業大学にヒアリングを行って、獣医学部新設に関する提案を聞いています。ところが、これが、十月ですから五カ月ぐらいの間、ホームページにも掲載されなかったんですね、どういうヒアリングを行って、どういう資料が提出されたということが。

その間に、三月十三日、先ほど申し上げました、安倍総理が、これは社民党の福島みずほ議員だったかと思いますが、この加計学園問題について質問を受けて、いや、熟度の高い具体的な提案は加計学園のみだったんです、今治市のみだったんです、こういう御説明をされております。

ところが、その三日後に、ホームページに京都産業大学の提案が載って、二十ページ以上ある非常に充実した提案が明らかになった、こういう流れなんです。

実は、これが載ったのは、マスコミから問い合わせを受けたからなんです。ちょうどその参議院の

審議がありました三月十三日、これは月曜日ですけれども、朝日新聞の方から、何か昨年十月に京都からのヒアリングを行ったらしいけれども、ホームページに載っていない、京都に聞いたら、いや載っているはずだと言われたんだけれども、載っていないんだけれども、どういうことですかと提案を受けられて、その後、京都府の方に、国家戦略特区の事務局なんでしょうけれども、内閣府の方から問い合わせがあって、掲載しますけれども内容を確認してください、これで間違いはないですねという質問が来たんだそうですね。それで、三月十六日に載ったんですよ。

総理は熟度の高い提案は今治だけだったとおっしゃいましたけれども、実際には、京都産業大学の提案を、見つかるまで隠していた、こういうことと言わざるを得ないと思うんですが、これについては内閣府の方はどのように受けとめられていますか。

川上政府参考人（注：内閣府地方創生推進事務局次長） お答え申し上げます。

昨年十月十七日に京都府等からのヒアリングがあったわけでございますけれども、このヒアリング資料につきましては、ワーキングの運営要領に基づきまして、座長の御判断で当面公表を見送ることとしてございました。この御判断は、今治市の提案資料や議事要旨を非公表としている中で、京都府等の提案だけを公表すれば不公平な取り扱いとなるおそれがあり、公平性を重視されたものというふうに承知をしております。

なお、八年かけて積み上げた今治市の提案と比べまして、昨年十月に初めて詳細が示されました京都府等の提案は十分な具体性がなく、また京都府等からも、直ちに開設するものではないとの意向を確認していたと承知をしております。

その後、事業者の公募等の手続を経まして、本年一月二十日に獣医学部の新設が決定されたため、関係資料の公表手続を進める中で座長の御了解も得られたことから、本年三月の六日に今治市の、本年三月十六日に京都府等の提出資料と議事要旨を公開したものでございます。

マスコミとの関係でございますけれども、内閣府には、日々さまざまな問い合わせや取材をいただいております。個々の取材について記録を残してございません。御指摘の京都府及び京都産業大学の提案に関する取材があったかどうかということについては、確認できていないところでございます。

いずれにいたしましても、今申し上げたとおり、当時、今治市のヒアリング資料を三月六日に公表したことに続きまして、できるだけ速やかに京都府の資料も公表できるよう作業を進めていたというところでございます。

以上でございます。

宮崎（岳）委員 京都府の方に問い合わせがあったのは三月十三日以降だというふうに聞いております。何か月もたっている話ですよ、きのうきょうヒアリングしたわけじゃないんですから。たまたま取材が来たのと同じときに公表して、三日以内に始めましたと。しかも、国会では、この選考過程が不透明じゃないかということで質疑が行われている真っ最中ですよ。こんなことは余りに都合のいい偶然じゃないかなというふうに思いますし、きのうの会見で八田座長も、どういう手違いがあったのかは聞いていないとか、たまたまタイミングが合ったんじゃないか、こんなお話もされているわけでありまして。

少なくとも、ことしの一月に既に選定は終わっているわけですよ。それが三月の、しかも国会で既に問題になってから公表されて、しかも、総理本人が、具体性のある提案が一つしかなかったとお

答えになった後に資料が出てくるというのは、余りに不誠実じゃないかと私は思わざるを得ないんです。

さらに申し上げれば、今、京都の提案は熟度が低いというようなお話があったんですが、そもそも、今治が出していた資料というのはA4二枚のものであって、実質一枚半ですが、日本再興戦略の引用などがありますから実質一枚程度のものであったんじゃないかなと思います。その前の構造改革特区のときに出ていますよと言うんですが、そこにはほとんどカリキュラムなんか書いていないですよ。

構造改革特区と国家戦略特区、そもそも法の趣旨が違うじゃないですか。国家戦略特区の第一条には、地方の活性化なんて言葉は一言も入っていないんですよ。四国に獣医学部がないから産業動物獣医が不足するとかというのは、国家戦略と関係ないじゃないですか。そうですよね。

国家戦略とどういう関係があるんですか。内閣府の方からお答えいただけますか。獣医学部が足りないというのは国家戦略なんですか。